

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【公表番号】特表2015-513310(P2015-513310A)

【公表日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-030

【出願番号】特願2014-547360(P2014-547360)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/505 (2006.01)

A 6 1 K 38/28 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/505

A 6 1 K 37/26

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月1日(2015.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

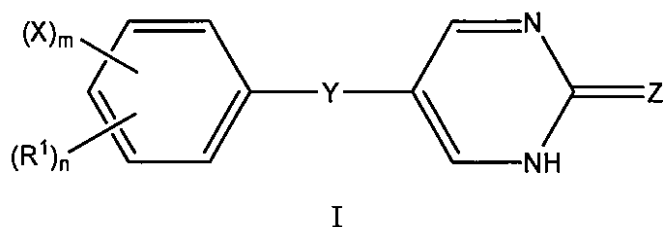
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物における I 型糖尿病の処置のために、インスリンによる哺乳動物の処置に連続して用いられる医薬の製造のための、式 I の化合物：

【化 1】



(式中、

R¹はアルキル基であり、

Xはハロゲンであり、

YはO、SまたはNHであり、

ZはOまたはSであり、

nは0～5の整数であり、mは0または1であり、但し、m+nは5以下である)
またはその薬学的に許容される塩の使用。

【請求項 2】

R¹はメチルであり、nは1である、請求項1に記載の使用。

【請求項 3】

R¹はメタ位にある、請求項1または2に記載の使用。

【請求項 4】

Xは塩素であり、mは1である、請求項1～3のいずれか1項に記載の使用。

【請求項 5】

Xはメタ位にある、請求項1～4のいずれか1項に記載の使用。

【請求項 6】

YはOである、請求項1～5のいずれか1項に記載の使用。

【請求項 7】

ZはOである、請求項1～6のいずれか1項に記載の使用。

【請求項 8】

R¹はメチルであり、YはOであり、ZはOであり、nは1であり、mは0である、請求項1に記載の使用。

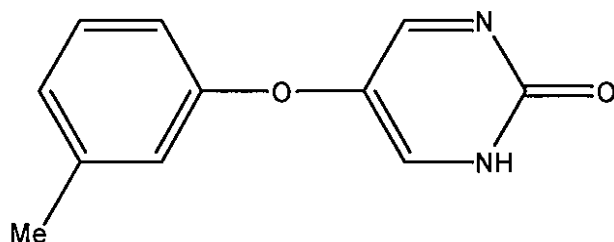
【請求項 9】

Xは塩素であり、YはOであり、ZはOであり、nは0であり、mは1である、請求項1に記載の使用。

【請求項 10】

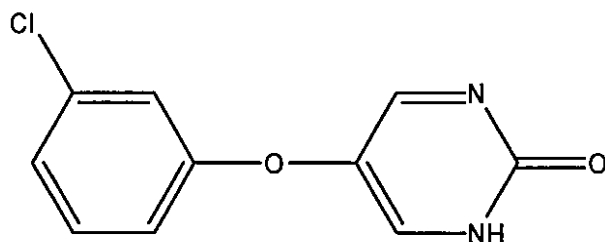
化合物が：

【化 2】



もしくは

【化 3】

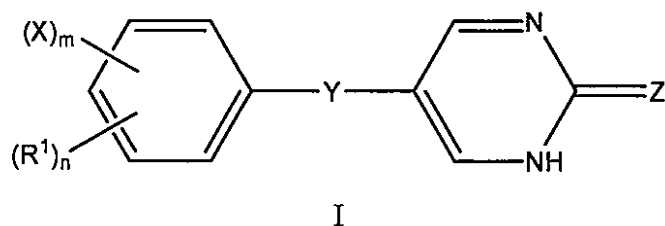


またはその薬学的に許容される塩である、請求項1に記載の使用。

【請求項 11】

哺乳動物におけるI型糖尿病の処置のための医薬の製造のための、インスリンおよび式Iの化合物：

【化 4】



(式中、

R¹はアルキル基であり、

Xはハロゲンであり、

YはO、SまたはNHであり、

ZはOまたはSであり、

nは0～5の整数であり、mは0または1であり、但し、 $m+n$ は5以下である)

またはその薬学的に許容される塩の使用。

【請求項12】

R^1 はメチルであり、nは1である、請求項11に記載の使用。

【請求項13】

R^1 はメタ位にある、請求項11または12に記載の使用。

【請求項14】

Xは塩素であり、mは1である、請求項11～13のいずれか1項に記載の使用。

【請求項15】

Xはメタ位にある、請求項11～14のいずれか1項に記載の使用。

【請求項16】

YはOである、請求項11～15のいずれか1項に記載の使用。

【請求項17】

ZはOである、請求項11～16のいずれか1項に記載の使用。

【請求項18】

R^1 はメチルであり、YはOであり、ZはOであり、nは1であり、mは0である、請求項11に記載の使用。

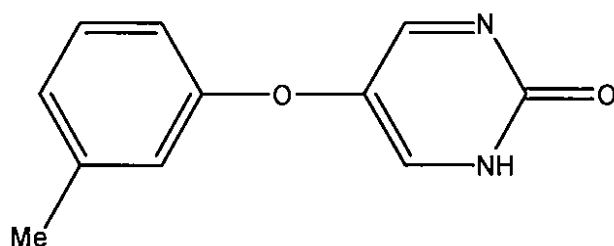
【請求項19】

Xは塩素であり、YはOであり、ZはOであり、nは0であり、mは1である、請求項11に記載の使用。

【請求項20】

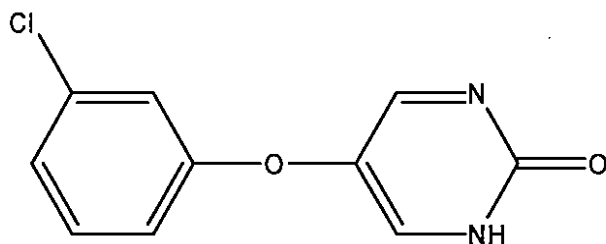
化合物が：

【化5】



もしくは

【化6】



またはその薬学的に許容される塩である、請求項12に記載の方法。

【請求項21】

インスリンが、注射用インシュリン、経皮インシュリンおよび吸入インシュリンから選択される、請求項11～20のいずれか1項に記載の使用。

【請求項22】

インスリンが、速効作用型インシュリン、短時間作用型インシュリン、中間作用型イン

シュリンおよび長時間作用型インシュリンから選択される、請求項 2 1 に記載の使用。

【請求項 2 3】

速効作用型インシュリンまたは短時間作用型インシュリンは、約 0. 0 5 U / k g / 日 ~ 約 5 U / k g / 日、約 0. 1 U / k g / 日 ~ 約 2. 5 U / k g / 日、または約 0. 3 U / k g / 日 ~ 約 0. 8 U / k g / 日である、請求項 2 2 に記載の使用。

【請求項 2 4】

中間作用型インシュリンまたは長時間作用型インシュリンは、約 0. 0 1 U / k g / 日 ~ 約 3 U / k g / 日、約 0. 0 5 U / k g / 日 ~ 約 0. 6 U / k g / 日、または約 0. 1 U / k g / 日 ~ 約 0. 3 U / k g / 日である、請求項 2 2 に記載の使用。

【請求項 2 5】

哺乳動物はヒトである、請求項 1 ~ 2 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 6】

式 I の化合物の量は、約 0. 1 m g / k g ~ 約 1 0 0 m g / k g である、請求項 1 ~ 2 5 のいずれか 1 項に記載の使用。

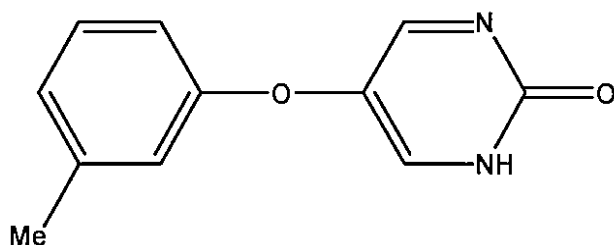
【請求項 2 7】

医薬は経口用医薬である、請求項 1 ~ 2 6 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 8】

医薬は、約 1 m g から約 1 0 0 0 m g の化合物：

【化 7】

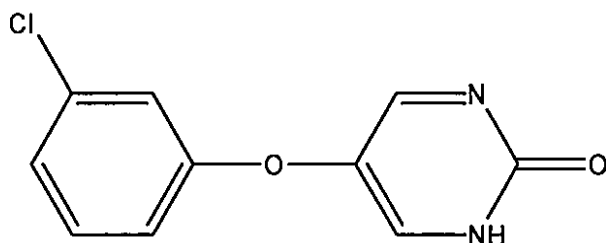


またはその薬学的に許容される塩を含む、錠剤、ゲルーキャップまたはカプセルである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 2 9】

医薬は、約 1 m g から約 1 0 0 0 m g の化合物：

【化 8】

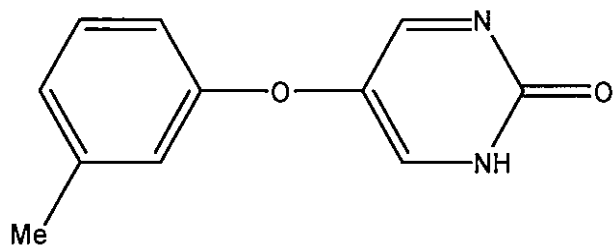


またはその薬学的に許容される塩を含む、錠剤、ゲルーキャップまたはカプセルである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3 0】

医薬は、約 1 m g から約 1 0 0 0 m g の化合物：

【化 9】

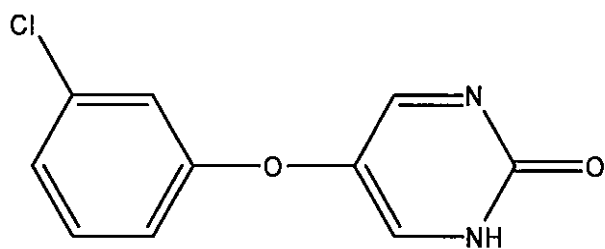


またはその薬学的に許容される塩を含む、錠剤、ゲルーキャップまたはカプセルである、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 31】

医薬は、約 1 mg から約 1000 mg の化合物：

【化 10】



またはその薬学的に許容される塩を含む、錠剤、ゲルーキャップまたはカプセルである、請求項 11 に記載の使用。